

# 奨励賞



撮影...Toshihiro Sobajima

設計者

## 岸本和彦

■ 神奈川県建築士会、acaa

戸建住宅(併用)

神奈川県横浜市

### Casa さかのうえ

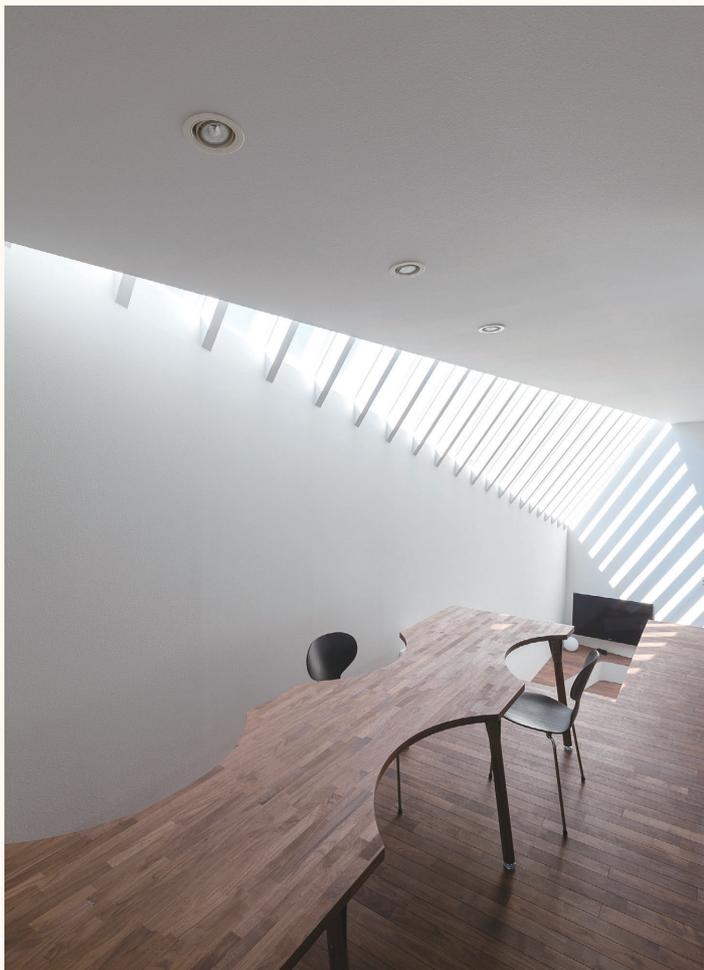
構造・階数  
木造  
地上2階建て

敷地面積  
132.47㎡

建築面積  
79.39㎡

延床面積  
158.39㎡

竣工  
平成25年2月5日



A



B



C

#### 選評

急な坂道の途中に建築された住宅。子ども2人を含む家族の居住機能以外に、夫のためのオフィス、妻の経営する私設ギャラリー、料理教室のためのキッチンとダイニングという多様な用途を兼ね備えるという条件を満たすために、設計の力量が求められた。

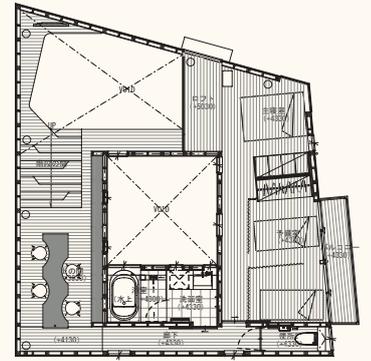
複雑な機能を空間として解くカギは、住宅というきわめて私的な空間に、いかに(また、どこに)公的な性格を持たせることができるか、つまり、家そのものをどこまでまちに開くことができるか、ということにあり、それは、坂道レベルから半階「浮いた」形となったピロティ空間に凝縮、象徴された。そこは「地域の縁側」

とも言える場所として、レセプションなどのイベント空間、アウトターギャラリーとしても使われ、クライアントの要望にもびったり沿った場所となった。ピロティからは、東側に広がる緑の木々が空間に溶け込んで、四方の外壁のレッドシダーと呼応して美しい。もともと古い建築が建っていた敷地を、建て替えによっていわば「復元」し、緑の環境も取り戻したことになる。

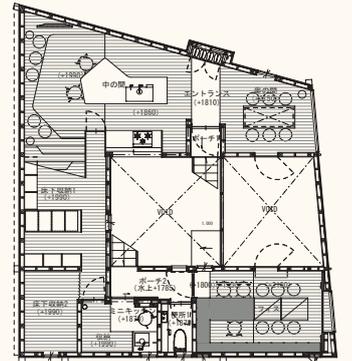
「木造2階建て」と言われても即座には納得しがたい複雑なレベル差を駆使して、住宅の各構成員、来訪者それぞれの居場所を、それぞれにふさわしい形で用意するという計画が成功している。(松川淳子)



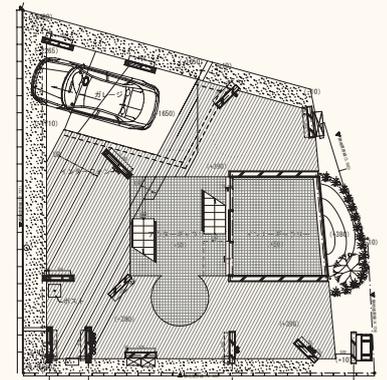
D



2階



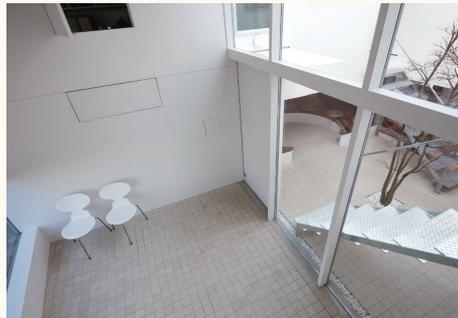
1.5階



1階  
平面図

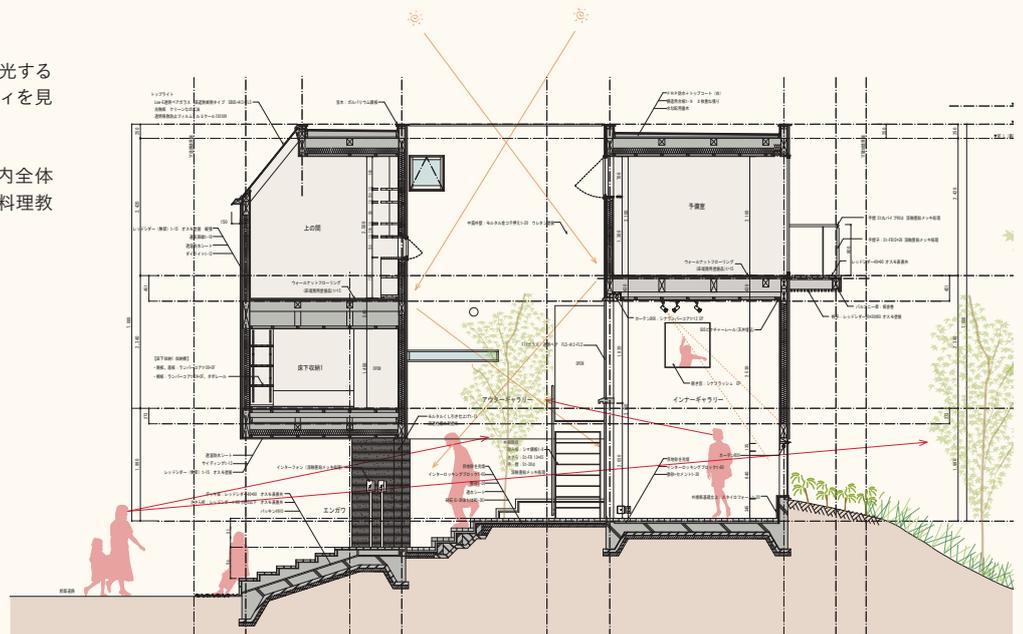


E



F

- A 上の間。斜めに切り取られたトップライトから採光する
  - B 前面道路の坂道レベルから半階浮いたピロティを見る。外壁はレッドシダー仕上げ
  - C 2階から OUTER ギャラリーを見る(夕景)
  - D オープンキッチンが設えられた中から室内全体を見る。右手に上の間、左手に中の間。ここで料理教室も開催される
  - E 西側外観
  - F インナーギャラリー
- 写真撮影…上田 宏



断面図